

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能](1)オ
	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 [思考力、判断力、表現力等]C(1)エ
	○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」
◎…指導の重点	

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	進んで場面の様子に着目してお話を読み、主人公の行動を想像し、学習課題に沿って、大好きな場面を紹介しようとしている。

単元で取り上げる言語活動  
 大好きなお話の中の好きな場面の主人公の行動について、思ったことや考えたことを中心に、友達に読んだ本を紹介する。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		「個別最適な学び」【個）・「協働的な学び」【協】
①学習のゴールを共有し、学習の見通しをもつ。 ②③教材文の内容の大体を捉える。 ④⑤教材文の主人公の行動や会話から、場面の様子を具体的に想像し、交流する。 ⑥⑦並行読書材を読み、内容の大体を捉え、好きな場面を見つける。 ⑧⑨並行読書材で主人公の行動や会話から、場面の様子を具体的に想像し、交流する。★ ⑩大好きなお話の紹介文をまとめる。 ⑪⑫大好きなお話を紹介し合い、自分が読みたいと感じた1冊を読み、学習を振り返る。	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 主人公のしたことや思ったことを具体的に想像するために、各場面の主人公の行動や会話、挿絵に着目している。	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力
		交流を通して、友達に着目した主人公の行動や会話、想像したことを理解している。	
		情報と比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】 主人公の行動や会話を根拠にして、主人公の動作や表情、様子などを具体的に想像することで、好きな場面を選ぼうとしている。	
		自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】 主人公の動作や表情、様子などについて想像した場面の中から、一番伝えたいことを決め、自分の考えを明確にしている。	友達とのやりとりの中から、想像したことの中で一番伝えたいことや、着目した行動や会話を明確にしている。
			・レオ＝レオニの作品の中から、主人公が明確になっている作品を10冊程度選び、並行読書の本として用意する。(絵本がいっぱい!)【個】 ・ペープサート「ふきだしくん」を活用して子どもたちの学習意欲を高めていく。【個】 ・教科書教材「スイミー」の全文掲示をし、内容の大体を捉えられるようにする。【個】【協】 ・並行読書した本の記録シートを用意する。【個】 ・友だちが読んだ本や選んだ本がわかるように並行読書マトリックス表にまとめ、児童が目的に応じて交流する相手を選べるようにする。【個】【協】 ・指導者による読み聞かせや朝読書の時間を活用し、並行読書の本に触れる機会を設ける。【個】 ・おすすめの本で交流するときは、同じ本を選んだ児童同士で集まれるようにグルーピングする。【協】 ・本の紹介のときは、できるだけ同じ本が重ならないようにグルーピングする。【協】 ・好きな場面を付箋で貼ったり、タブレットに記録したりして、「ここが好きだ」という思いを膨らませられるようにする。【個】